

「ガバナー補佐体験記」

国際ロータリー第2640地区IM8組

ガバナー補佐 中田 佐和彦 (堺ロータリークラブ)



第1組から始まりましたガバナー補佐の体験記、それぞれ素晴らしい活躍の報告を拝見させて頂きました。いよいよしんがりの8組へ担当が回って参りました。恥ずかしい話ですがガバナー補佐を指名され始めてその役割について勉強いたしました未熟なロータリアンであります。手続要覧をさかのぼりDLPの目的や、DLPの役割や、DLPの果たすべき効果をゼロから勉強いたしました。そして得た結論は大変なお役を引き受けたものと後悔を致しました。最初の仕事として昨年4月23日付けで担当5クラブの会長様に対して年度の会長方針、活動計画及びクラブの解決必要と思われる問題点を箇条書きにして5月末日までに提出して下さいとお願い致しましたが大変残念な事です。全クラブから返事が有りませんでした。

そこで訪問初回に卓話をさせていただく事にしました。『DLPとは何ですか』のテーマで少しでもDLPの内容と知識を共有したいとの願いと私が考えるガバナー補佐の役割や担当クラブに対するバックアップの姿勢を纏めてお話させて頂きました。

そしてこの一年間 IM8 組内であっても訪問する機会の無かったクラブの例会に出席することによって、新しい刺激受け、更に素晴らしい活動内容を拝見出来、数多くの勉強をさせて頂いたのが私にとって一番の収穫でありました。

これぞロータリークラブと言える表彰に値する活動内容のクラブも有りますがもう少し注力して欲しい希望を2つ提案させて頂きます。

1. 例会の形骸化が心配です。例会の目的をもう一度考え、例会のあるべき姿を再構築をしませんか？

2. クラブ活動全般に対する長期計画の立案を望みます。

クラブ運営が単年度主義になっていませんか、ぜひ長期計画を創りクラブ運営の指針を明確にして欲しいと望みます。

クラブライフの中で人格形成の向上を実感出来る様なクラブ造りが出来た時、ロータリークラブの存在が光り輝き自然と世間に認知されるロータリークラブになるのではないのでしょうか？

(RI第2640地区マンスリーレター・2007年5月号より)